

平成24年度決算を認定

9月定例会では、平成24年度決算案件(一般会計、特別会計、企業会計)9件が上程され、分割付託された総務委員会と建設経済厚生委員会において、3日間にわたり慎重審議を行い、認定となりました。

一般会計の決算額は、歳入190億51,697千円、歳出188億57,589千円、翌年度への繰り越し47,615千円を差し引いた実質収支額は1億46,493千円となっています。

各委員会において、執行者に対し以下のとおり意見・要望が述べられています。

一般会計決算

【歳入】

- 国営加古川西部土地改良事業負担金の過年度分徴収については、やむを得ない場合を除き、一定方針をもって徴収業務に当たられたい。

【歳出】

(ふるさと創造部)

- 公共交通機関のコミュニティバスの運行に当たっては、北条鉄道との連携(接続)も検討していただきたい。
- 町によっては月日を決めて特定の人権についての事業に取り組んでおられる。市においても行政を推進する上で特定の日を設定した取り組みはできないか。
- 鶉野飛行場跡地周辺で実施される調査事業については、その調査により次の段階の事業が実施できるようしっかりとした計画策定をしていただきたい。
- アスティアかさいにおいて空き店舗が増える中で、図書館の施設管理費等負担金が増えることのないようお願いしたい。
- 魅力ある加西市を発信するために、観光行政ともタイアップして「加西住タイル」のPRに努めていただきたい。

(財務部)

- 投資的経費を適正に運営し、健全経営に努めていただきたい。
- 借用地の中で使用していない土地については、できるだけ解消できるように努めていただきたい。
- 公有財産の中で使用許可を与えているもののうち、免除となっているものについて、今後、使用料が取れるかどうか検討していただきたい。

(総務部)

- 消防団の能力向上のために、いままで以上に研修に努められたい。

- 市民と接触の多い部署にあつては、苦情等危機管理に対応するためスキルアップに努めていただきたい。

(市民福祉部)

- 障がい者雇用については、就労機会や賃金の額が増えるよう努められたい。
- 生活保護受給者に対し、短期に就労できるための支援について努力していただきたい。
- ファミリーサポートクラブについては、過去3年間分の実績を事務報告書に記載されたい。

(地域振興部)

- 若者定住促進事業における持ち家促進補助金については、もっと有効な施策となるよう努めていただきたい。
- 観光面を通じたPRに努めていただきたい。
- 産業振興促進奨励金のうち固定資産税にかかる部分については、国の減免措置の適用となるよう努められたい。
- 新規の工業団地の造成に向けて努められたい。
- イノシシ・シカ対策としての防護柵において、道路によって切れ目がある部分については、何らかの対策を講じていただきたい。
- 合同就職面接会の事務報告書への記載にあたっては実績も記載していただきたい。

(都市整備部)

- 街路樹について、枝が通行の妨げにならないように、また根が路面を持ち上げないように十分な管理に努められたい。
- 道路脇の雑草について、市のイメージアップのためにも草刈り等美化に努められたい。
- 環境美化ボランティア活動を促進する仕掛けを検討していただきたい。
- 丸山総合公園は、夜間は非常に暗く危険なために、街路灯の点灯について配慮願いたい。